

輪番労働者全員の健康診断を行います。9月20日から7日間

一人2,500円×1,500人 = 375万円の経費の関係でタイアップ企画

釜ヶ崎支援機構では、輪番労働者全員の健康診断を行いたいと考えていた。

それは何故かと言えば、皆もよく知っているように、夏場を中心に仕事中に体調不良を訴える仲間が多い。それだけではなく、昼食前にうつぶして休んでいるのかと思われた仲間が死んでいたり、救急搬送された仲間が病院で死亡したりということもあった。

健康管理の目安になればと、血圧計を設置すると、驚くべき数値の人が多くことが確認され、改めて健康診断の必要性を浮かびあがらせる結果となった。

野宿を余儀なくされている仲間は、体力の衰えが甚だしく、健康診断を行い、病を早く発見して治療に結びつけることが必要との思いは深まるばかりだったが、実際に全員の健康診断を行うとなると、かなりの経費が必要となる。

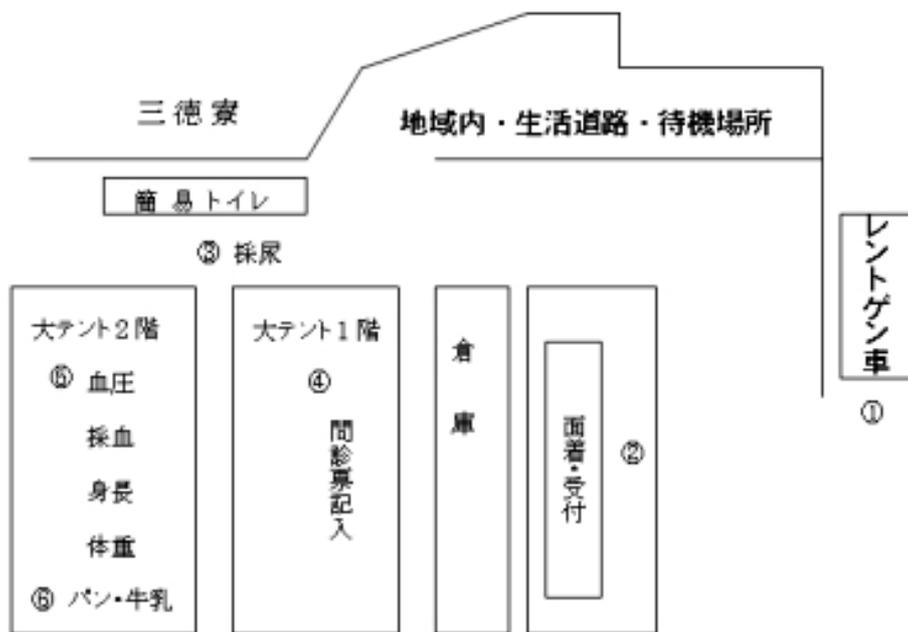
頭を悩ましていた所、野宿生活者の健康問題に関心を持つ学者・研究者のグループから、厚生労働省から研究助成金が下りたので、協力してもらえないかという申し出があった。

渡りに船というか、一石二鳥というか、こちらからお願いしたい位の話である。

普通の健康診断と同じ情報が、本人に渡されるから、輪番労働者全員が自分の健康状態について確認できる。結果によれば、医療センターで精密検査や治療を受けることができる。

医者や公衆衛生の専門家などに関わってもらえることで、個々人のデータを集団としてまとめ、野宿生活者の健康状態について問題点や課題を再発見し、それらを解決するための手だてを考えてもらうことができる。

まさに、一石二鳥というわけだが、そのほかに、厚生労働省からの研究助成を貰っているわけだから、当然報告書がまとめられ、公表される。それにより、輪番就労者だけでなく、市内全域の野宿生活者の健康問題に注目が集まり、具体的な健康問題についての対策が生れる可能性が高くなると考えられる。研究目的について理解・協力・快諾をお願いします。前代未聞、釜ヶ崎初の集団健康診断。自分の健康状態の確認もさりながら、仲間全体の利益のために、全員受診の実現に協力して下さい。



健康診断の日に就労する時は何も口にしない(空腹)で来て下さい

血液検査で空腹時血糖値を診るため。検査終了後、パンと牛乳を配ります。それを朝食に！

当日の具体的な手順

健康診断日 = 9月20日(土)・22日(月)・24日(水)・25日(木)・26日(金)・27日(土)29日(月)の7日間に輪番があたる人は、朝食・缶コーヒーなどはひかえて生活道路清掃事務所の受付に来て下さい。この期間中は、センターの番号の回りを見て、当たらないことを確かめてから、朝食などを摂るようにしてください。

健康診断は、出発時間の関係で地域外就労(草刈りも含む)の人から先に行います。地域内・生活道路清掃に就労する人は、申し訳ありませんが、三徳寮横で待機して下さい。フェスティバルゲート就労の人も先におこないます。

地域外と草刈りに就労する人は、まず、レントゲン検診を受けて下さい。レントゲンのあと、検尿のコップをもって、受付に行き、紹介票を出して腕章を貰って下さい。受付ではいつも通り、紹介票と登録カードを出すと同時に、検尿カップを見せてカップの番号も伝えて下さい。

健康診断は、腕章のグループごとに移動して行います。いつもどおりスタッフが先導します。グループごとに、簡易トイレの前に移動し、採尿をすませて下さい。コップ一杯なみなみとは必要ありません。しかし、一滴二滴でも困ります。上手に加減して下さい。時々、この段階で出ないという人がいます。なるべく溜めて来て下さい。

採尿したコップは、大テント一階の受付で提出し、問診表を受け取って各自、記入して下さい。問診表に検尿カップと同じ番号が記入されていることを確認して下さい。

問診票の記入が終わったら、その表を持って、大テント二階に移動して下さい。

大テント二階では、血圧測定、採血、身長体重の測定を行います。

血圧は自動血圧計で測りますが、最高血圧180以上または最低血圧100以上の人は、正確を期すため

に、医師が水銀柱血圧計で再測定します。

身長体重測定は、引率するスタッフが行います。

すべての検査が終わったら、問診票を提出し、パンと牛乳を受け取って下さい。そして、グループごとに現場へ出発。地域内の方は、地域外の方がすべて終わってから、同じ手順で健康診断を受けることになります。協力をよろしく。